

# 華創

はなそう

2022  
JULY  
No.712

7

みらいへつなげよう  
けいはんな新線



京阪奈新線新祝園ルート早期延伸を求める決起大会を開催! / 2  
けいちゃん・ほんちゃん・なあちゃんの社会見学 in 学研都市 / 4  
国際交流員コラム / 10 精華町の水道・せいかジョブポイントだより / 18



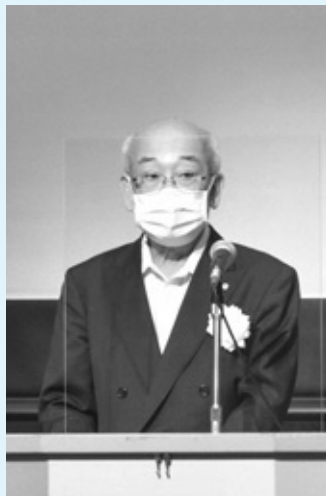
# 京阪奈新線新祝園ルート 早期延伸を求める 決起大会を開催！

去る5月12日(木)、精華町、精華町商工会、精華・西木津地区研究機関協議会(SRIG)、けいはんな学研都市精華地区まちづくり協議会(SLE)を構成

団体とする「京阪奈新線新祝園ルート整備促進協議会」がけいはんなプラザで決起大会を開催しました。本号ではこの決起大会の様子をお伝えします。



大阪産業大学波床教授による  
基調講演



開会のあいさつをする杉浦町長



ガンバロー三唱で思いを一つにする参加者の皆さん

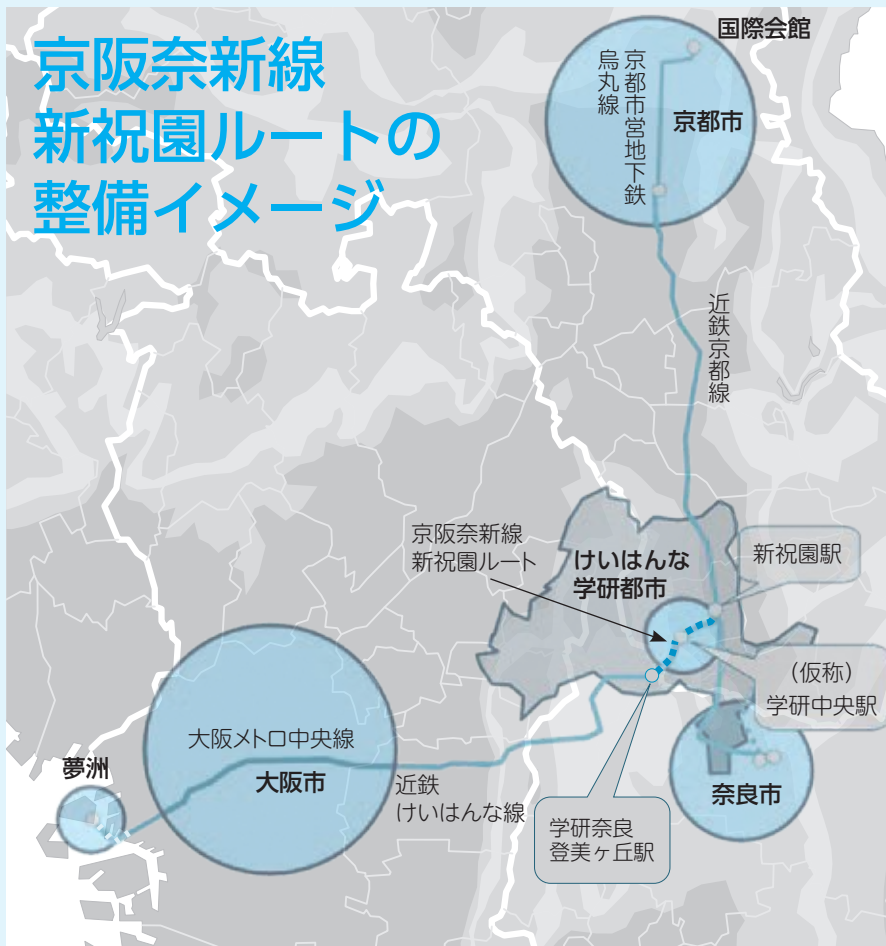
京阪奈新線については、平成18年の近鉄けいはんな線学研奈良登美ヶ丘駅開業の後、高の原ルートと新祝園ルートのいずれも事業化のめどが立っていない状況が続いています。

そこで精華町では平成30年度から、立地企業の増加を背景に、学研都市の中心部を貫き近鉄京都線と相互乗り入れることで、京都駅から大阪・夢洲までを直通させる新祝園ルート構想を打ち上げ、その早期実現を求める運動に取り組み始めました。

さらに令和2年度に実施した町独自の追加調査では、京都市営地下鉄烏丸線とも相互乗り入れをすることで、京都市内の多くの大学と学研都市との交流を促進する可能性を打ち出しました。これにより、構想をよりパワーアップして、京都府の協力を得ながら、国に対して実現に向けた支援を求める運動に取り組んでいます。

決起大会では、協議会の会長である杉

# 京阪奈新線 新祝園ルート 整備イメージ



◀ 町立小学校全児童に配布した  
下敷き



▲ 決起大会のための特製うちわ



SRGの香山会長(右)とSLEの若本副会長(左)による意見表明

浦町長のあいさつに続き、大植副町長から取り組み経過について報告しました。大阪産業大学教授の波床正敏先生による基調講演では、「京阪奈新線は学研都市を貫く必要がある。関西文化学術研究都市の未来を支える新祝園ルート」と題し、パンタグラフ方式と第三軌条方式両方の集電方法を併用する車両の紹介といった技術的なお話から、災害に強い学研都市は副首都を担えるという壮大なお話まで、夢と希望あふれる講演をしていただきました。

当日は京都府の鈴木副知事をはじめ、沿線自治体の京都市、宇治市、城陽市、京田辺市、奈良市、生駒市から、さらには学研都市の建設促進を応援して下さっている国会議員の秘書の皆さん、学研都市の中核的機構の方々などを多数来賓に迎え、協議会からは構成団体加盟企業の経営者や従業員の皆さんを含め、総勢約120名の大会となりました。

最後には、当日配布された「早期延伸」と印刷された特製うちわを掲げて商工会の田尻会長の発声により「ガンバロー」三唱で決起大会を締めくくりました。

参加された方からは「大勢の参加者で驚いた」「これだけの盛り上がりがあるとは知らなかった」などといった感想が聞かれました。当日の様子はNHK京都放送局のニュースや複数の新聞でも取り上げていただきました。

広報誌「華創」では今後も京阪奈新線新祝園ルート延伸の動きを分かりやすくお伝えしていきます。

関企画調整課未来都市係 095-11900